

12月4日の朝、事務室がざわつきました。全国紙朝刊に大人気漫画『鬼滅の刃』のキャラクターが、全面で登場する広告に驚いたからです。それはコミックスの最終23巻の発売を記念して、作者からの感謝がつづられたページも含め総4面の壮大な広告でした。

正午のニュースには、東京丸の内の書店にスーツを着たサラリーマンが最終巻を買い求めに行列を作っている様子が報道されていました。県内では、岩手大学生協購買中央店で入荷140冊が完売したそうです。(参考岩手日報12月5日記事)職員の中にも全巻購入した人、親子で映画を楽しんだ人、帰りに購入する!と言う人がいて、ブームの裾野の広さを実感しました。

また、ベネッセ調査「小学生が選ぶ!2020年憧れの人」によれば、小学生に「憧れの人物」を尋ねたら、1位に主人公 竈門炭治郎(618票)、3位に炭治郎と同じ「鬼殺隊」の胡蝶しのぶ(315票)、7位に炭治郎の妹禰豆子(163票)など、10位までのうち7人を『鬼滅の刃』のキャラクターが占めるという驚きの結果になったそうです。

キャラクター以外には、2位にお母さん(393票)4位先生(229票)5位お父さん(171票)がランクインしています。ベネッセ「小学生が選ぶ!2020年憧れの人」小学3年~6年7,661人)調査の詳細はこちら→<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000865.000000120.html>

炭治郎にあこがれる理由は、「誰にでも優しい」「家族思い」「あきらめずにがんばる」「炭治郎のことを思い出すとがんばれる」とのことです。そして、お母さん・お父さんにあこがれる理由は「優しい」「家族のために頑張っている」が共通でした。誰もが苦しい状況だった2020年ですが、小学生のあこがれの理由を読み、子どもたちのまなざしにほっとしました。

「人は心が原動力だから 心はどこまでも強くなれる!!」(竈門 炭治郎)というメッセージに象徴される、前向きでひたむきな生き様が多くの世代の心に響いたのでしょうね。【Y】

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/
kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★

